

1 安全に関する注意事項

本誌(取扱説明書)は、ヒットエアー(衝撃緩和保護システム)付ジャケットを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管して下さい。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 警告** 1. ヒットエアー付ジャケットは、乗馬の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。
- 警告** 2. ヒットエアー付ジャケットは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。
- 警告** 3. 使用済のカートリッジポンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)のカートリッジポンベを使用下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いていないことを確認してご使用ください。
- 警告** 4. ヒットエアー付ジャケット内蔵のパーツを分解しないで下さい。
- 注意** 5. ヒットエアー付ジャケットを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物はいれしないで下さい。着用前には必ず取り外して下さい。(例:ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等)作動時及び、作動後にも気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。
- 注意** 6. ヒットエアー付ジャケット取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスポンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40℃以下での使用に限りませう。高温になると破裂の危険があります。
- 注意** 7. ワンタッチリリース(コネクター)をはずすのを忘れて馬から降りると、引っ張られた伸縮ワイヤーによってヒットエアーが作動しますので必ず馬に股がった状態でワンタッチリリース(コネクター)をはずして馬から降りて下さい
- 注意** 8. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

5

24

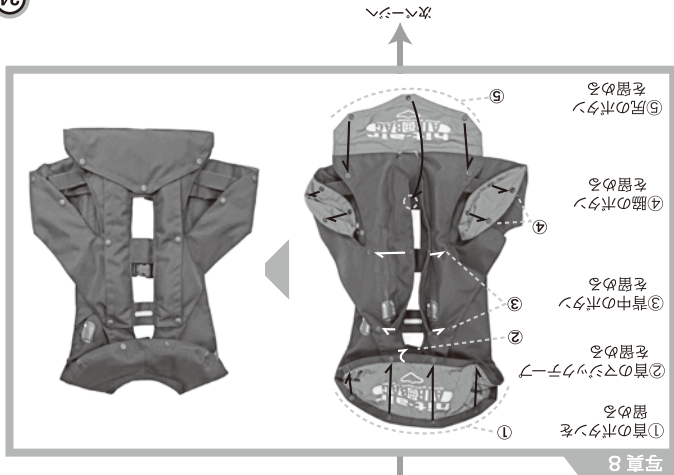


写真8 8.各気室を収納して全てのボタンを止めます(写真8)



警告 セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグが作動しません。
 キーホルダーがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。
 (写真7) 7.セッティングボルトを外します

7-2 キーホルダーの再生作業

8 お手入れ方法(クリーニングについて)

1. ヒットエアー一体型エアバッグは洗濯・クリーニングは出来ません。
 2. ヒットエアー一体型エアバッグは水に浸けしないで下さい。
 3. 雨天などで濡れた場合、日陰干しをして下さい。
 4. ヒットエアー一体型エアバッグが汚れた場合
 - ・濡れタオル等で汚れを拭き取るようにして下さい。
 - ・ポンベを付けたままハンガーにかけ、お風呂場などで表面にシャワーで水をかけて汚れを落とすして下さい。その場合、キーボックスに直接水をかけないでください。
- ※注意: 洗剤や柔軟剤等はフィルムにダメージ(硬化、ひび割れ等)を及ぼす場合がありますので使用しないで下さい。

9 保管方法

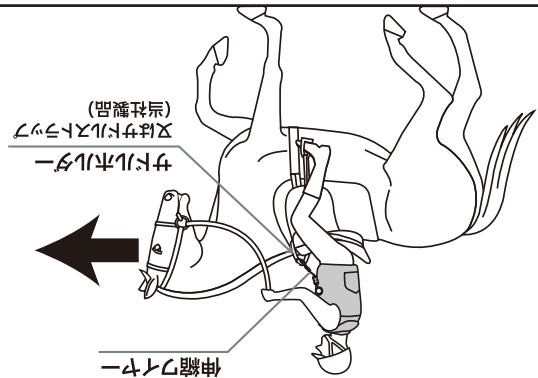
ヒットエアー付ジャケットを永く安心して使用するために、次のような所や条件下では保管しないで下さい。

1. 高温になる所(直射日光の当る場所、車中、ストーブの近くなど)
2. 雨漏りする場所
3. 蒸気のある場所
4. 湿気が多い場所
5. 他の物の下積み
6. ネズミなどの害のある場所
7. 子供の手の届く場所
8. 折り畳んだり、丸めたりしての保管(ハンガー掛けにして下さい)

26

7

ヒットエアー(衝撃緩和保護システム)付ジャケットは、乗馬の際、上衣として着用します。
 アクションにより馬から一定の距離(※1)離れた瞬間に、キーホルダーが抜け、ヒットエアーに組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジポンベより炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっていきます。その膨張した気室が、人体と外部の接触物(※2)の間に入り、衝撃を緩和する仕組みです。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。
 「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するものではありません」
 キーホルダーは、簡単には抜けない仕組みになっており(※4-3 キーボックス(P12)参照)乗馬の際に予想される動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。
 ※1)一定の距離とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、馬に股がかり、ヒットエアー付ジャケットを接続して鞍と合わせた状態で、鞍に固定されている伸縮ワイヤーが何の障害(※2)もなく伸びた状態をいいます。方向は前後左右を問わず同じです。
 ※2)障害とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ヒットエアー付ジャケットを接続して鞍と合わせた状態で、伸縮ワイヤーに障害物(馬、荷物、その他)などが触れた場合の事をいいます。これらの場合、一定の距離に至らなくとも作動する事があります。



概要